

# 令和4年度 自己評価結果公表シート

安威幼稚園

## 1、本園の教育目標

いつでも、どこでも、だれとでも仲良くできる、やさしい元気な子

1、いつも「園児中心」の教育を行います。

- ・元気な「あいさつ」ができる子ども、明るく「返事」のできるこどもを育てます。  
幼稚園では、「おはようございます」で始まり、「さよなら」で終わります。挨拶は、人間形成の上、もっとも大切な基本です。
- ・基本的な生活習慣が身についたこどもを育てます。
- ・豊かな情操と、心身ともに健やかなこどもを育てます。
- ・心のつよいこどもを育てます。
- ・小学校へ円滑に進めるこどもを育てます。

2、つねに、家庭との連携を図ります。

3、つねに、幼児教育にふさわしい環境づくりに努めます。

4、楽しい英語レッスンを通して、グローバルな視野をもった子どもを育てます。

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・コロナウイルス対策を強化し、施設・設備や教職員の衛生管理についても徹底して行う。
- ・各学年のカリキュラムの取り組みを考慮し、教育目標を達成する。

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
学級運営、安全、衛生管理などの見直しを図る。	保育室の装飾、環境整備には常に幼児の発達や生活を考え構成されていた。
幼児の理解を深めるため家庭との連携を図る。	子どもの成長など保護者に対して連絡を密に行った。子どもの様子を通して園生活について理解を深めるよう心がけた。

幼稚園の教育課程の編成、実施に関して教職員間の共通の理解を図る。	各学年の共通認識を得るため、毎日短時間であるが各学年の中で話し合いの場を設け、相互の連携を得た。
特別支援について、個々の子どもについてはアドバイスを受入れ指導している。	それぞれの幼児に適した指導を心がけ、キンダーカウンセラー、茨木市の巡回心理士と連携を取り保育に活かせるよう努めた。
遊具、環境などを見直し、安全な運営、管理を心がける。	園舎、園庭、教室について安全を確認し、事故のないよう努めた。
預かり保育の在り方、考え方について工夫する。	預かり保育希望者が年々増加傾向にあり、事故、怪我のないよう、担当者を増員して対応した。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>教員が自己評価を行う事によって、自らの保育、安全対策について再考し、前向きな姿勢で保育に取り組んでいる。常に自己研鑽し、高い目標を持って保育に臨んでほしい。</p>
---

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
危機管理マニュアルの充実。	従来あるマニュアルを見直し、職員の一層の理解を求める。新たに安全点検チェック表、点検分担表を作成する。
園内研修、外部研修を通して、教育としてより一層の資質の向上を図る。	新任教員の研修は継続し行っているが、経験のある教員にも様々な研修に参加し、より充実したものにする。
食育について理解を深める。	研修を通して、食育を理解し、子どもの食に関する正しい知識を得る。

#### 学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。良好な環境の下で運営され、教育の向上が見られたという意見をいただいた。

#### 7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。